

文化交流センター講座

事業概要：1982年に大阪駅前ビルに設立された文化交流センターでは、本学教員等による知的情報の提供や交流を推進し、大学における学術研究の成果を社会に還元することを目的として、公開講座、シンポジウム、セミナー、講演会などを開催しています。



2018年度実績

講座数：年間計 71 講座

開催場所：大阪市立大学文化交流センター（大阪駅前第2ビル6階）

参加者：4,154名（のべ）



「温故知新」(2018年5・6月) 全14講座		
オーラル・ヒストリーから見える日本の政治行政	手塚 洋輔教授 (法学研究科)	
医療の質を向上させるデータサイエンス	新谷 歩教授 (医学研究科)	他
夏期講座「学問の先達は語る」(2018年7・8月) 全9講座		
ストレス社会と組織・集団適応 ー適応過程におけるこころのはたらきに注目してー	弘田 洋二教授 (創造都市研究科)	
「働き方改革」を考えるー働き手・働き方多様化の視点からー	服部 良子准教授 (生活科学研究科)	他
防災講座「自然災害と都市」(2018年9月) 全4講座		
避難計画のための数理技術	瀧澤 重志教授 (生活科学研究科/ 都市防災教育研究センター兼任研究員)	
大阪地域の液化化危険度の予測と対策	大島 昭彦教授 (工学研究科/ 都市防災教育研究センター 兼任研究員)	他
野村證券株式会社 共催講座 (2018年10月) 全4講座		
人生100年時代を見据えた資産管理	田中 政広氏 (野村證券株式会社 投資情報部 ファイナンシャルプランナー)	
歴史統計の推移から考える証券投資 ー何が起きたのか、何が起きるのか?ー	増山 豊氏 (野村アセットマネジメント株式会社 投資信託営業統括部シニア・マネージャー)	他
博学連携講座「幕末・維新の变革と大坂(大阪)」(2018年11月) 全4講座		
幕末・維新の基点としての天保期	木土 博成学芸員 (大阪歴史博物館)	
幕末の政局と大坂蔵屋敷	豆谷 浩之課長代理 (大阪歴史博物館学芸課)	他
文化交流センター公開講座 (2018年11・12月) 全13講座		
放射能汚染はなぜくりかえされるのかー公害の教訓に学ぶー	除本 理史教授 (経営学研究科)	
結び目の数学ー結び目の分類をめざしてー	金信 泰造教授 (理学研究科)	他
専門家講座 (2019年1~3月) 全23講座		
10コース (会計・税金、人間・社会、法律、証券、スポーツ、技術、理学、文化・歴史、メディア、生活科学)		

※講師の所属・役職は2018年3月末時点のものです。

第15回三大学連携事業 「スポーツを通して見える社会 —時代を生き抜く力とは—」

公開講座

事業概要： 本学、大阪府立大学、関西大学の三大学は、同じ大阪都市圏に立地する大学として、2008年に包括連携協定を締結しました。この協定にもとづいて、毎年公開講座を共同開催しています。

2018年度実績

三大学連携事業では2016年度より「健康・スポーツ」をテーマとした講座を開催してきました。2018年度は多様な立場でスポーツに向き合ってきた方々を講師に招き、スポーツを通して得られるものはなにか、社会でどのように役に立つのかについて議論を深めました。人とのつながりや、試行錯誤する力、また、スポーツが社会課題の解決にもつながるといった視点など、スポーツの価値について多くのメッセージを発信する場となりました。

開催日： 2018年11月17日（土）
開催場所： 大阪市立大学杉本キャンパス 学術情報総合センター 10階 大会議室
参加者： 164名（うち一般103名、学生61名）



対談形式での講演



パネルディスカッションの様子

第1部	基調講演「スポーツを通して見える社会 —時代を生き抜く力とは—」
	講師：奥野 史子氏（スポーツコメンテーター） 司会：上田 富美子氏（フリーアナウンサー）
第2部	パネルディスカッション「私がスポーツを通して得た価値／社会におけるスポーツの価値」
	パネリスト： 奥野 史子氏（スポーツコメンテーター） 宮脇 英次氏（本学体育会アーチェリー部弓友会会長／豊田通商(株) 理事 安全・環境推進部 部長） 濱野 理香氏（大阪府立大学総合リハビリテーション学部理学療法科 OG / 理学療法士、ポッチャ国際審判員、株式会社アワハウス人事部教育課所属） 松浦 大輔氏（関西大学体育会ラグビー部アシスタントコーチ、ニュージーランドウェリントンカレッジ U15s アシスタントコーチ／大学院人間健康研究科 人間健康専攻 博士前期課程） ファシリテーター：今井 大喜講師（本学都市健康・スポーツ研究センター）

公開講座

近鉄文化サロン共催講座

事業概要：株式会社近鉄百貨店との文化事業実施に関わる協定にもとづき、2007年度から近鉄文化サロンとの共催講座を実施しています。歴史や文学など文系の講座を中心に開催しています。

2018年度実績

講座数：年間41講座

開催場所：近鉄文化サロン阿倍野（あべの and 内）

※現地講座の場合は外部会場にて開催

参加者：309名（のべ）



	開催日および時期	講座名	講師
定期講座	2018 年前期・後期（各6回）	じっくりと味わう源氏物語	水谷 隆非常勤講師（武庫川女子大学）
	2018 年前期・後期（各6回）	遁世の文学—鴨長明『発心集』を読む	小林 直樹教授（文学研究科）
	2018 年前期（全6回）	<もの>から語る大阪の歴史III	仁木 宏教授・岸本 直文教授・ 磐下 徹准教授（文学研究科）
	2018 年後期（全6回）	中世都市を歩こうII ～歴史と地形から「町」を復元する	仁木 宏教授（文学研究科）
一日・短期講習会	2018年6月23日（金）	大阪の近代建築とその魅力	高岡 伸一講師（都市研究プラザ）
	2018年9月22日（土）	『古今和歌集』の「序」をよむ～ ～古を仰ぎて今を恋ひざらめかも～	山本 真由子講師（文学研究科）
	2018年12月2日（日）	年賀俳句の世界 ～年賀状に俳句を添えてみませんか～	杉田 菜穂准教授（経済学研究科）
	2019年2月16日（土）	『御堂関白記』の世界II	磐下 徹准教授（文学研究科）
	2019年3月28日（木）	現地講座「詠んで学ぼう桜の科学～ 晶子桜が咲く」観察会 ※本学理学部附属植物園にて開催	杉田 菜穂准教授（経済学研究科）

●年賀俳句の世界 ～年賀状に俳句を添えてみませんか～

2018年12月2日に、俳人でもある杉田菜穂准教授（経済学研究科）が、年賀俳句についての講座を行いました。受講者は、新春を寿ぐ作品にふさわしい内容と言葉遣いを心がけながら、作句に挑戦しました。仕上げに杉田准教授がそれぞれの句の添削指導を行ったあと、各々住み慣れた地や我が家の風景、新年の抱負など自分らしい俳句を詠みあげ、年賀状俳句の世界を満喫しました。



俳句講座の様子

公開
講座

朝日カルチャーセンター共催講座

事業概要：株式会社朝日カルチャーセンターとの文化事業実施に関わる協定にもとづき、2014年度から共催講座を実施しています。2018年度は「市大・朝日ライフサイエンス塾」として、疲労科学をはじめとした、人が健康で活動できる生き方について考える講座をテーマとして開催しました。

2018年度実績

講座数：年間11講座

開催場所：朝日カルチャーセンター中之島教室

参加者：315名（のべ）

公開
講座

開催日	講座名	講師
2018年4月8日(日)	糖尿病治療食の新しい流れ	福本 真也病院教授(医学研究科)
2018年5月27日(日)	回想法への招待	篠田 美紀准教授(生活科学研究科)
2018年6月10日(日)	脳科学から見た抗いがたい食欲の正体	吉川 貴仁教授(医学研究科)
2018年8月26日(日)	認知症は治るか?	嶋田 裕之特任教授(医学研究科)
2018年9月9日(日)	元気な超高齢社会を目指して	羽生 大記教授(生活科学研究科)
2018年10月14日(日)	心不全は誰もが起こす病気	花谷 彰久特任教授(医学研究科)
2018年11月11日(日)	メンタルヘルスと自己管理	松田 光信教授(看護学研究科)
2018年12月9日(日)	髪の毛は健康のパロメーター?	菅原 弘二准教授(医学研究科)
2019年1月27日(日)	メタボ・ロコモを予防して健康寿命の延伸を!	渡辺 一志教授(都市健康・スポーツ研究センター)
2019年2月24日(日)	「背骨が曲がる」とは?	寺井 秀富准教授(医学研究科)
2019年3月10日(日)	肝細胞癌に対する最新の治療	久保 正二病院教授(医学研究科)

●メタボ・ロコモを予防して健康寿命の延伸を!

2019年1月27日に、渡辺一志教授(都市健康・スポーツ研究センター)が講座を行いました。世の中にあふれている健康情報の本質を理解し適切に利用する能力や、与えられた材料から自分に合った必要な情報を引き出し効果的に活用する「健康リテラシー」を向上させることが重要であるとの話がありました。また、メタボリックシンドロームを予防するための知識と筋肉(筋力)や、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)、健康づくりのためのトレーニングについても詳しい解説がありました。受講者は、紹介されたトレーニング法を実践しながら熱心に聴講し、身近な場所で簡単にできる筋力トレーニングの知識を深めました。



ロコモを防ぐトレーニング法を紹介

大阪落語への招待 公開講座

事業概要：大阪落語の第一線で活躍する落語家を講師に迎え、学生と一般受講者がともに学ぶ公開授業です。講義を通じて、大阪落語の面白さや奥深さだけでなく、大阪の文化や芸能、市民生活についても解説しています。

2018 年度実績

- 開催日：**2018年4月11日（水）～7月11日（水）（全14回）
- 開催場所：**大阪市立大学杉本キャンパス 基礎教育実験棟1階 階段教室
- 受講者：**一般130名、学生200名
- 講師：**久堀裕朗教授（文学研究科）、桂春團治客員教授、桂春雨客員教授 他



授業では大阪落語と江戸落語の違い、歌舞伎や音曲との関係など、落語の歴史や表現の特色を明らかにしました。12回目の講義では、「寄席への招待」と題して桂春團治客員教授をはじめとする一門の方々による落語の実演が行われました。そして、最終回の講義終了後には、一般受講生を対象とした修了式を行い、全14回のうち10回以上出席した受講者101名に対して修了証を授与しました。



授業風景（寄席への招待）

ママだからできる市民活動チャレンジセミナー 公開講座

事業概要：本セミナーは、大阪市男女いきいき財団との共催事業「女性のためのキャリアデザインプログラム」の一環として、市民活動に関心のある女性を対象に、地域の女性が市民活動においてどのような役割を果たすことができるのかをテーマとして開催しました。講義とともにディスカッションも多く取り入れ、参加者同士で交流しながら学びを深める場となりました。



2018 年度実績

- 開催日：**2018年11月15日（木）、11月29日（木）、12月13日（木）（全3回）
- 開催場所：**大阪市立大学文化交流センター
- 参加者：**16名



グループディスカッション（第1回）

	テーマ	講師
第1回	人生を豊かにすることの意義と理解—女性ならではの視点で、地域課題を発見—	柏木 宏特任教授（創造都市研究科）
第2回	市民活動の基礎知識	柏木 宏特任教授（創造都市研究科）
第3回	自分自身の人材としての特性を知ろう！	徳谷 章子氏（NPO 法人ハートフレンド代表理事）

※本事業は平成30年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」（文部科学省）として実施しました。